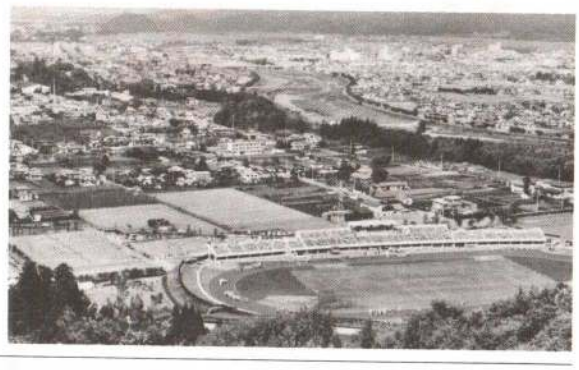
第5回 世論調査から (Part2)



前号にひきつづき、昨年10月に市で実施した世論調査の結果から、今回は残る生活、福祉、教育文化についてお知らせします。

テーマV〈生活〉

七割強の方が〝大館は住みよい〟

Q17・あなたが今、困っている問題は？（回答は二つまで）

①家計（収入、税金など） 52%
②仕事（就職、失業など） 25%
③老後の問題 22%
以下、「健康」、「環境」、「住宅」、の順となっています。このほか最近社会問題化している子どものいじめなど「教育の問題」と答えた方は6%、「とくに困っていることはない」と答えた方はちょうど一割いました。

Q18・若者が大館市に住みつくために、仕事の場はもちろんのことそのほか何が必要と思いますか

①教育・文化を盛んにする（大学誘致など） 27%
②住みよい生活環境 24%
③魅力ある商店街 23%

Q19・大館市は住みよいところですか。

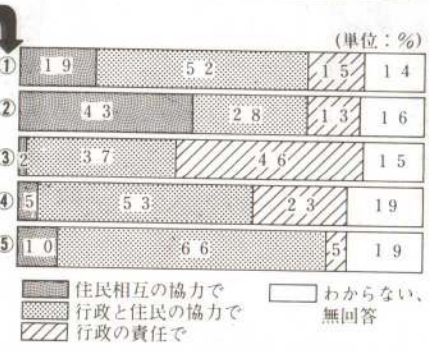
Q20・前問で「まあまあ住みよい」「たいへん住みよい」と答えた方へ。その理由は？（回答二つまで）

①土地（人間関係含め）に愛着があるから 50%
②親代々この土地に住んでいるから 45%
③自然環境がよいから 33%

Q21・では「どちらかといえば住みにくい」と答えた方へ。その理由は？（回答は二つまで）

①安定した収入や職場が少ないから 63%
②教育、文化、買物、医療など生活に不便だから 31%
③交通の便が悪いから 25%

Q22・生活環境づくりに、行政と住民の役割分担は



①道路や側溝の清掃
②生ゴミ収集後の集積場所の清掃
③生活道路、歩道の除排雪
④一人暮らし老人の世話や心づかい
⑤未成年者の非行化防止

このほか、通学通園時の児童の安全誘導、住宅周辺の遊休地の清掃などは住民相互の協力、もしくは行政との協力でという答えが多いのが目につきました。

テーマVI〈福祉〉

福祉行政のトップは老人対策

Q23・福祉行政で、今後特に力をいれてほしいものは（二つまで）

①ねたきり老人、ひとり暮らし老人対策 46%
②保健医療、救急医療体制の整備拡充 39%
③高齢者、心身障害者の雇用対策 31%
④乳児、老人医療の無料化拡大 29%
⑤保育園など児童福祉施設の充実 15%
⑥重度心身障害者対策 11%

Q24・これからの社会福祉、社会保障と受益者負担についてどうお考えですか

①税や負担金などは増やさず、現在のままでよい 44%
②税や負担金を増やしても、福祉保障を向上させた方がよい 22%
③福祉保障が少なくなってもいいから、税や負担金は安い方がよい 15%

市長の対話ノート

鉱山を守ろう

No.126

花岡に鉱山が開かれて七十年。以来松峰、釈迦内、深沢、餌釣と次々に開発が進み、大館地域経済の発展はもとより、市勢にも大きな貢献を果して参りました。

この間、金、銀、銅、鉛など鉱石の価格による不況で何度か苦しみ、それを克服して来たところですが、今度ばかりは今までとは様子が違い、不況ではなく「危機」であり「危険」という状況にあります。

欧米との貿易不均衡を是正するために輸入をしやすく、輸出に少しブレーキがかかるようにするという国の方針で「円高」政策がとられました。また発展途上の銅産出国では、値段が下れば量で勝負といって乱掘をし、更に値段を安くしています。この二重の打撃ですから異常なのです。

安ければ消費者は喜びますが、発展途上国への援助は更に増し、鉱山も自治体も危機となります。しかも国の施策で。日本に鉱山があるから、探鉱や採鉱、選鉱の世界一の技術が開発されたのであり、その技術を更に高めることによって世界に貢献できるのです。

この重大な時期に私たちは、鉱山と地方自治を守るため、政府と国会に抜本的な解決策を強く求めると共に、可能な限りの支援、援助を惜しんではならないと考えます。

畠山健治郎

◆法律相談――3月18日9時半～16時
◆社会保険相談――3月5、12、19、26日10時～15時